

## 特定プログラム説明書

開設学部等名〔 教育学部 〕

プログラムの名称	(和文) グローバル教員養成特定プログラム
	(英文) Fostering Globally-Minded Teachers
<p>1. 概要</p> <p>急速にグローバル化が進む現代社会において、教員には、子どもたちのグローバルマインドを育成できる資質や能力が求められている。特に、グローバル人材の育成や海外の大学進学等を主目的としたスーパーグローバルハイスクールや国際バカロレア校の教員には、語学力はもとより、論理的な思考力・判断力・表現力・問題解決力など、グローバル社会に必要とされる資質や能力を身に付けさせる指導力が、より一層求められる。このような背景のもと、学士課程における本プログラムでは、グローバルマインドを育成し、わが国の学習指導要領で示された各教科の内容について、世界の共通言語とされる英語を用いて授業ができる教員を養成することをねらいとする。日本における教員免許状の取得（見込み）を基礎資格とし、高度な語学力の育成を図る科目や、英語で授業が実践できることを目指した科目、さらには批判的思考力、論理的表現力、コミュニケーション能力など、グローバルマインドの指導に関する科目群を設定している。本プログラムでは、海外の文化や教育の実態を理解するとともに、語学力の向上やチャレンジ精神の育成を促すため、本学が提供するプログラム等を活用した海外への留学を強く推奨する。</p> <p>本プログラムの修了者には、「修了証」が授与される。大学院（博士課程前期）で開設される「グローバル教員養成プログラム」を履修する場合は、本プログラムを修了しておくことが望ましい。</p>	
<p>2. 到達目標</p> <p>本プログラムは、世界レベルで学力を捉え、変化の著しい日本社会においてグローバル化に対応し得る人材を育成できる教員を養成することを目的とし、国内外の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教員として、子どもたちのグローバルマインドを育成できる指導力の獲得を目指す。具体的には、次の4つの事項を目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) グローバル人材に求められるチャレンジ精神やコミュニケーション能力の獲得</li> <li>(2) グローバル教育とそのカリキュラム、指導と学習、評価、専門職活動に関わる実際の理解</li> <li>(3) グローバルマインドの基本となる、多面的な視点による論理的な思考・議論の能力や態度を習得させるための指導方略についての理解</li> <li>(4) 英語による単元計画の立案、指導計画の作成、教材研究、授業実践を通じたグローバル教員としての技能の習得</li> </ol>	
<p>3. 登録時期</p> <p>本プログラムの登録を希望する者は、原則として1年次第4ターム授業終了時に申請すること。また、希望者は履修期が1年次の授業科目を履修しておくこと。</p>	
<p>4. 登録要件</p> <p>TOEIC®公開テストまたは広島大学が実施するTOEIC®IPテストで500点以上、もしくは、これに相当する英語コミュニケーション能力を備えていることが望ましい。</p>	
<p>5. 受入上限数</p> <p>20名程度とする。希望者が多数の場合、1年次終了時での成績（GPA）に基づき、履修登録者を決定する。</p>	

#### 6. 授業科目および授業内容

- ※ 授業科目は、別紙の履修表を参照すること。
- ※ 授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。

#### 7. 修了要件

別紙の履修表に示す 11 科目以上の単位を修得していること。また、TOEIC®公開テストまたは広島大学が実施するTOEIC®IPテストで 730 点以上、もしくは、これに相当する英語コミュニケーション能力を備えていること。なお、本プログラムの修了は、教員免許状の取得（見込み）を前提とする。

#### 8. 責任体制

本プログラムにおける授業科目は、教育学研究科の教員によって担当される（非常勤講師を含む）。教育学部長を本プログラムの責任者とし、教育学部内のグローバル教員養成プログラム実行委員会が計画・実施・評価検討・対処にあたる。

#### 9. 既修得単位等の認定単位数等

##### (1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等

原則として既修得単位等の認定は行わない。

##### (2) 広島大学における既修得単位（科目等履修生として修得した単位を含む）の認定単位数等

原則として既修得単位等の認定は行わない。

#### **【特定プログラム履修に関する注意事項】**

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した特定プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○特定プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

グローバル教員養成特定プログラム履修表

科目区分	授業科目	単位数	履修期	履修区分	要習得単位数	備考	
						授業の方法	授業時間
育成科目 グローバル マインド	世界の教育・日本の教育	2	1年生 4ターム	必修	4	講義	30
	教育とグローバルマインド	2	2年生 1(又は2)ターム	必修		講義	30
教育実習	グローバル教育実習入門 <sup>(1)</sup>	2	2年生 3セメ(集中)	必修	4	実習	30
	グローバル教育観察実習	2	3年生 6セメ(集中)	必修		実習	30
に 関 する 科 目 教育方法・ カリキュラム	英語授業の計画と指導 <sup>(1)</sup>	2	3年生 3ターム	必修	6	演習	30
	英語マイクロティーチング	2	3年生 4ターム	必修		演習	30
	IS教科書基礎研究	2	1年生1ターム～ 3年生4ターム <sup>(2)</sup>	必修		演習	30
英語科目	教育の英語基本用語Ⅰ	1	1年生 1, 2ターム	必修	4	演習	30
	教育の英語基本用語Ⅱ	1	1年生 3, 4ターム	必修		演習	30
	教科書の英語表現Ⅰ	1	2年生 1, 2ターム	必修		演習	30
	教科書の英語表現Ⅱ	1	2年生 3, 4ターム	必修		演習	30
異文化 科目 体験	海外フィールドスタディ <sup>(3)</sup>	2	1年生 1セメ・2セメ	自由 選択	(0)	講義・ 演習	30
留 海 学 外	グローバル教員養成演習 <sup>(4)</sup>	2	1年生 3ターム以降	自由 選択	(0)	演習	
合 計					18		

備考

- (1) 本学部のミシガン州立大学留学プログラムを利用した単位認定を行う場合は履修期を限定しない。  
 (2) 各教科の主専攻プログラムに応じて、いずれか一つのタームで開設する。  
 (3) 教養教育科目の一つである。  
 (4) 本学が提供する留学プログラム等を活用した海外への留学を強く推奨する。